

## 組合員の皆様へ各種手続きのお願い!!

組合員の皆様には、ご出資をいただき組合事業を活用いただきながら組合運営を行っておりますが、適正に組合員の皆様を把握し、運営をしていくため、下記の事項が御座いましたら、お手続きをさせていただきますようご案内いたします。また、来年4月1日に改正森林組合法が施工され、組合員枠が拡大されることとなります。組合でも、法改正に併せ対応してまいります。今回はその概要についてお知らせし、運用が始まります時に改めてご案内をさせていただきます。

### 【ケース1】 組合員の方がお亡くなりになられ、別の方が組合員資格を相続される場合

相続加入の手続き → 必要提出書類 → 相続加入申込書

※組合員の方がお亡くなりになられてから90日以内に!  
※お亡くなりになられて90日以上経過している場合は、ご相談ください。

### 【ケース2】 組合員の方がお亡くなりになられて、組合を脱退する場合

脱退の手続き → 必要提出書類 → 法定脱退届

※出資金の払戻しは、届出受付後、次年度の総代会終了後払い戻しとなります。  
例) 令和元年12月2日~令和2年12月1日に届出の受付をしたもの  
↓ ↓ ↓  
令和3年4月に開催される総代会議決後に払戻し(令和3年4月30日)

### 【ケース3】 組合員の方が、加入時のお届けの内容を変更された場合

① ご住所が変わった  
② お名前が変わった  
③ 団体等の名称が変わった  
④ 団体等の代表者が変わった  
⑤ 出資金を増やしたい

必要提出書類 → 変更届  
出資金増加申込書

※各種届出には、ご印鑑・ご本人確認できるもの(免許証・保険証)等が必要となります。

## 『組合法の改正「組合員資格枠」の拡大!』

【現在】  
組合員になれるのは、森林所有者の指定により、「同一世帯に属する」内の一名

【改正後】  
「同一世帯」から「推定相続人」とし人数制限が撤廃されます。

当組合では、来年度以降定款等の改正を行い対応していく予定であります。

今回は3つのケースでお示しをしましたが、お手続き等組合員に関するお問い合わせは、「本所・総務課☎0263-77-2413」までお問い合わせください。

### 事業委員会 ソヤノウッドパーク視察

去る11月13日に開催された事業委員会において、10月に稼働を開始した塩尻市片丘のソヤノウッドパワー(株)のバイオマス発電施設を視察致しました。

当施設は発電出力14,500kWを誇る県内最大規模のバイオマス発電所です。場内に入るとボイラやチップサイロなどの巨大な施設に圧倒されました。チップを満載した大型トラックがトラックダンプに載るとそのままトラックごとダンブアップされてチップがサイロに送られて行きます。ボイラで発生した蒸気はタービンへと送られて発電機を回し、再びボイラへと戻されます。大きな施設ですが木質バイオマスを利用していためカーボンニュートラルとされています。(燃焼で発生する炭素量と植物が吸収する炭素量が平衡しているという考え)煙突から排出される排気も途中で浄化されてほぼ二酸化炭素と水だけになっているというところで



11/13

### 安全衛生大会「VR体験」

11/4.5.6

例年春と秋に全職員が一堂に会して集まる恒例の安全衛生大会も、本年はコロナウイルスの影響により、春は各支所ごと、資料の読み合わせのみで終わりました。秋もまた、残念ながら一堂に会してという訳にはいきませんでした。11月4・5・6日の3日間午前・午後に分かれ、少人数でソーシャルディスタンスを守り行われました。

今回は林業労働災害シミュレーターによる『VR体験』を行いました。体験者は特殊なゴーグルをつけ、チェンソー型のコントローラーを使いコンピュータ上に作られた3D空間の世界で実際に起きた「チェーンソーのキックバック」「つるがらみ」「元玉切り」「幹割れ」



等の8種類の林業災害を体験しました。終了後はこの体験を通しての振り返りミーティングを行い、今後の安全衛生への取り組みと行動について話し合いました。

今回は現場での作業がいかにか危険と背中合わせであるかを、日頃現場に出る機会のない職員も身をもって体験することができ、次年度に向けてそれぞれが、それぞれの立場で安全衛生を考えた良い機会となりました。

長野県林業職員協会  
池田町にて県大会開催!

11/19

昨年は、北信地域での台風19号の被害等で中止となっておりましたが、県大会が11月19日に北安曇郡池田町を会場に行われました。

今回は森林調査・測量業務の効率化に向けて活用の検討が進んでいる最新型の安価なGNSS(衛星による位置測定システム)及び苗木運搬等が可能な産業用大型ドローンのデモンストラクションを体験しました。

午前の部では最新のRTK-GNSS(測量機器)を使った測量について、松

この実演は昨年度中止になっていたもので、2年越しでようやく見ることが出来ました。どちらも、現場の効率化を図る上で、有効な道具だと実感しました。



地域振興局普及係の古澤さんを講師に実際に林内で測量体験をしました。精度は現在実際に使用している機器より高く、購入金額も半額以下の安価との事に、驚きました。しかし、まだ検証段階で、造林補助金などの制度に対応していないなどの問題もあるとのことですが、近い未来には現場で活躍しそうです。

午後は山梨県のサイトテック(株)のユニット型ドローンの実演を見ました。このドローンは脱着可能なユニットシステムを取り付け運搬・散布・測量・検査等の様々な業務が出来る大型ドローンで、最大積載量は30kg最大飛行時間23分と日本初の記録を持つドローンです。当日は晴れてよい天気でしたが、時折風が強く吹き、風に左右されやすい厳しい状況の中、様子をみながら、安全確保の上、実際にチルホールを山の尾根へ運ぶところを見学しました。





### …購買係より…

本年も購買事業をご利用いただきありがとうございます。今年の春はコロナウイルスにより注文の減少が心配されましたが、例年同様のご注文を頂いたこと、感謝御礼申し上げます。

さて、本年もこの広報に併せ、山行苗木・種駒の注文書を同封させていただきました。価格は据え置き昨年同様の価格にさせて頂きましたが、本年は原木を切らせていただく山で、ミズナラ・サクラのコナラ以外の樹種が取れることが分かりました。通常の販売ではコナラをメインにしておりますが、本年はミズナラ・サクラの原木も特別に500本限定で注文を取りたいと思います。サクラはナメコ栽培をする方に頼まれることが時々ありましたので、本年ナメコ栽培をお考えの方はぜひ、ご検討ください。また、ミズナラに關しましては、椎茸の量は取れるが、楢木が長く持たない等の理由で椎茸を生業としている方にはあまり好まれないため、生産者の方のご協力により特別価格250円(税別)にて販売をさせて頂きます。毎年の楽しみに楢木を作る方は、100円お安くいたしますので、是非試してみてもどうでしょうか。ミズナラ原木の特徴につきましては、林業総合センターの特産部に教えて頂いた情報を下記に載せますので、参考にしていただきご利用いただけたらと思います。次年度も、組合購買のご利用をよろしくお願い致します。

### ★原木椎茸栽培に適する樹種

クヌギ・コナラ・ミズナラ  
その他シデ類・カシ類など

### ★ミズナラ原木の特徴

寒冷地に多い樹種で、長野県には多く自生している。発芽量が多いが、小型・薄肉のものになりやすい。また、小径木は樹皮が薄いため、乾湿当の影響を受けやすく、ほだ木が傷みやすいなどの欠点がある。

情報提供:長野県林業総合センター特産部



### 編集後記

今年度は、組合も世の中同様コロナ禍にあり、例年行われていたイベントがほぼ中止となりました。例年この時期の広報では、イベントでみなさんが楽しむ姿を載せるのですが、今年は残念ながらその写真もありません。記事になるネタを探すのに、懐かしく昔の広報を見てみると、馴染みの子がヒノキのボールで遊んでいる

写真、今年は会えなかったのでもた一段と大きくなっているのだろうと、しばし物思いにふけりました。外国ではワクチン接種が始まったとのニュースを聞きますが、日本ではまだ先が見えないのが現状です。早くイベントが出来る平和な日常が戻ってくるとういいなあと広報を通して改めて感じました。



### 第1049回市売り 市況表 (令和2年11月16日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター  
TEL 0263-77-2347 FAX 77-2349

○強気配 - 保合 △弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	安値(円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	7,000	4,000	-	価格前回同等。荷動きあり。
	4.0	直	20~28	12,000	9,000	4,000	-	
	4.0	直	30上	15,000	10,000	4,000	-	
ひのき	3.0	直	20上	17,000	12,000	4,000	-	柱、土台取り安定した需要。30上直材引き合いあり。
	4.0	直	18~28	17,000	13,000	4,000	-	
	4.0	直	30上	21,000	14,000	8,000	-	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	4,000	-	価格やや回復。荷動き復調。
		直	14~18	12,000	9,000	4,000	-	
		直	20上	14,500	13,000	4,000	-	
		曲	14~18	11,000	9,000	4,000	-	
		曲	20~40	12,000	11,000	4,000	-	
赤松	4.0~8.0	込	26~52	30,000	12,300	4,000	-	需要期迎える。
樺	2.0~6.4	一本	20~74	131,000	20,000	4,000	○	良材に高値、応札活発。
桜	2.0~4.4	込	20~56	42,000	20,000	4,000	○	
くりならくみ	2.0~6.0	込	20~40	41,000	20,000	4,000	○	
くみ	2.0~4.0	込	20~56	24,000	13,000	4,000	○	
桐	2.0~4.0	込	20~36	32,000	12,000	4,000	○	
いもいも	2.0~4.0	込	32~70	143,500	-	4,000	○	
	2.0~4.0	込	42~58	49,000	-	4,000	○	良材に高値。
	1.8	一山	20~46	56,000	-	4,000	-	

出品量 7,149 ㎡ 販売量 4,734 ㎡ 落札率 66% 買い方 52 社

協同組合がよりよい社会を築きます



中信木材センター開設58周年記念市にあたり、多量のご出荷をいただきまして誠にありがとうございました。ひのき、広葉樹を中心に多様な材が集まり、コロナ禍の中ではありましたが活気のある記念市らしい内容となりました。

大径材など良材に高値が付き、応札も活発でした。なら・くり・さくら・くるみは堅調な需要を維持しています。針葉樹合板用材は価格、納材量ともに復調しつつあります。一般製材用や土木用材は地場での需要が堅調です。

【当連合会は合法木材に取り組んでおります】  
合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることこのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

新年初市 令和3年1月6日(水)

### くみ組 森

# まつもと広域

第25号

発行 令和2年12月15日  
松本広域森林組合  
〒399-8102  
長野県安曇野市  
三郷温 4000 番地  
0263-77-2413  
http://www.matsumoto-forest.jp



県産材を使った  
丸太・杭  
各種サイズ販売中!



筑北加工場  
0263-64-3300まで



### 松くい虫被害への取り組み

近年、管内の北側を中心に被害の広がっている松



くい虫によるアカマツの被害について、当森林組合では行政などとも連携をしながら様々な方法で対策を講じているところがあります。被害が微少でスポット的に枯損木が確認されている箇所では伐倒燻蒸による被害木の処理を行って周辺への被害の拡大を抑えます。更に重点的に被害の拡大を抑えてマツを守る必要がある場合は健全木を対象に予防的処理である樹幹注入を行います。また、現在被害が進行している、もしくは進行が避けられない箇所については面的にマツを伐採し広葉樹林への転換を図るなど森林の再生を考えながらの施策を行っています。まいります。今回はその中からいくつかの事業をご紹介します。

### ①農中森力(もりぢから)基金

#### 第6回助成事業

【アカマツ林の再生と豊かな森を目指して】

松本市四賀地区の取り組み

第4回の塩尻市宗賀団地に続き、第6回に採択となりました松本市四賀地区の藤池団地での事業が始まりました。この事業は農林中央金庫が国内の荒廃した民有林の再生により、森林の公益性を

発揮させることを目指した活動に対して助成し、もって森林の多面的機能が持続的に発揮されることを目的とした事業を対象とし、今回は全国から20件の応募の中から当組合が9件の一つとして選ばれ、管内で深刻な状況になっている松くい虫被害を受けているアカマツ林の再生をテーマにした事業となります。事業地は組合の筑北支所の東側に位置する藤池地区の約9haのエリアになります。被害が進行しつつある部分ではアカマツを伐採し、搬出・地拵を行ったあとマツノサイセンチュウに対する耐性を持つ抵抗性家系アカマツを新たに植栽してアカマツ林としての再生を図ります。これとは別に枯損が進行している部分では枯損木を伐採し、すでに成長しつつある有用広葉樹を残して広葉樹林への転換を図ってまいります。いずれも現在は景観上や環境上の面から里山としての機能を失いつつある山林の再生の方法を探るモデルケースとして事業を実行いたします。また、発生した伐採木についてはチップ化を行い、現在稼働中である塩尻市のバイオマス発電所で燃料として有効活用することになっています。



### ②枯損木活用事業

山林に放置され、有効活用されていない松くい虫枯損木を有効活用し、地域が主体となって行う松



更なる取り組みを推進するため、松くい虫枯損木を木質バイオマス発電の燃料(チップ)に資源化して活用する取組等に対する支援についての県の補助事業で、今年度より当組合が事業主体となって初めて取り組むものです。管内4市村、9箇所の被害の進行しているマツ林において用材としては利用できませんが、水分量が少なくバイオマス向けのチップ材としては非常に有用な枯損木を主に伐採搬出します。

### ③カラマツ林や広葉樹林への樹種転換

被害が進行しつつある、もしくは進行が予想される地域では完全に枯損してしまう前に現在のアカマツを全て伐採し、所有者様のご意向や地理的条件なども検討しながらカラマツなどのアカマツ以外の針葉樹、コナラなどの広

### ④樹幹注入

葉樹への植え替えを進めています。伐採したアカマツは形状や枯損の状態を見ながら、製材向けの用材、合板用などへ選別を行い、材としての利用の難しいものについてはバイオマス発電所向けのチップ材へと出荷して無駄のないように仕分けを行うことで所有者の皆様への還元を考えながら事業を行っています。伐採から植栽までの作業は手間のかかる作業となり、実施できる面積は限られますが、今後も積極的に進めてまいります。

平成24年頃より樹幹注入の事業に取り組んでまいりましたが、一般家庭の庭木への相談が年々増え、平成27年頃より、その数が増加した為、庭木への樹幹注入に關しましては、各地域毎に庭木に精通した造園業の方をご協力業者様として、組合への庭木の樹幹注入のご依頼はご紹介という形をとらせていただいています。

また、11月から1月にかけて市村主催の講習会などへも、長野県薬剤防除協会の指導者と共に  
出向き、地域の方々に  
へ注入薬剤情報を提供してまいります。

注入剤は組合購買で取扱がありますのでご利用下さい。

